

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校
第 164 号

総務部
2017.08.04

第 1 回体験入学 夏の高校野球 フェアフィールドの高校生徒交流 訪問ボランティア・甘利山の除草

第 1 回体験入学開催

7 月 15 日 (土)、第 1 回中学生体験入学及び学校説明会を行い、中学生 97 名・保護者 54 名中学校教職員 3 名、合計 154 名の方が来校しました。本校の体験入学は、工業科 6 学科の中から 2 つの学科を体験することで、少しでも本校の教育内容に興味・関心・親しみを持っていただく同時に、工業高校を理解

してもらうことを目的に毎年実施しています。体験実習の内容は、『電子機械科は文鎮の製作』、『電気科は LED ライトの製作』、『情報技術科は Flash による動画の制作』、『環境化学科は電子顕微鏡観察及び入浴剤の合成』、『システム工学科は省エネカーの体験試乗と溶接体験』、『制御工学科はレゴロボットの制御操作』であり、各科の特色を生かした体験を行いました。また、保護者と中学校教職員の方々には、体験実習中の生徒の様子や学校の施設設備の見学及び学校説明会を行いました。体験終了後のアンケートには、「今日体験できなかった他の学科も体験してみたい。」と工業科に興味を持った中学生がいました。今回の体験入学が参加した中学生の進路選択の参考になれば幸いです。



高校野球開幕

7 月 8 日(土)から、第 99 回全国高等学校野球選手権山梨大会が開催されました。本校野球部は、大会 4 日目(12 日)に北杜高校と対戦しました。初回に先制を許すも、先発の塩谷周斗(韭崎東中出身)、リリーフした宮下尚、齊藤航大(ともに:白根巨摩中出身)が粘り強いピッチングをみせ、

その後の追加点を許しませんでした。打撃陣も、4 回矢吹竜誠(若草中出身)の犠牲フライで同点に追いつくと、5 回には米山明義(城南中出身)の 2 点ランニングホームランで逆転。その後も加点し、8-1(8 回コールド)で勝利し、富士北麓球場に 4 年ぶりの校歌を轟かせました。残念ながら、次戦の駿台甲府高校戦は、0-

11(5 回コールド)で惜敗しましたが、3 年生にとって最後の夏をキャプテンの齋藤祥(白根巨摩中出身)を中心に完全燃焼出来たと思います。

フェアフィールドの高校生徒交流

7 月 13 日(木)、韭崎市国際交流事業でアメリカ合衆国カリフォルニア州フェアフィールド市から韭崎市を訪れている



高校生6名が来校しました。応接室で行われた歓迎セレモニーには本校代表生徒5名が参加し、一人ずつ英語で簡単な自己紹介をした後、お返しに来校生徒が簡単な日本語で自己紹介をしました。その後、部活動見学を実施しました。まずエコカー部では、省エネカーの説明後、来校生徒が実際に体験試乗をおこないました。次の太鼓部では、演奏披露の後、部員が来校生徒にマンツーマンで打ち方やリズムを教え、部員・来校生徒全員がひとつずつ楽器を担当して簡単な曲を演奏しました。最後に茶道部では、来校生に浴衣で着物体験をしてもらい、部員が来校生徒と韮崎市の職員の方々に呈茶をしました。部活動・交流会いずれの場所でも、本校生徒達は、「〇〇って英語でどう言うの？」などと言いながらも自然にコミュニケーションをとることができていました。お互いの言葉が完全に理解できなくとも同じ高校生同士、心を通じ合わせて笑い合えることがわかり、非常に有意義な経験をする事ができました。



一人暮らしの高齢者宅にボランティア

7月11日(火)に夏季訪問ボランティアが行われました。参加したのは2、3年生のボランティア委員24名です。韮崎市社会福祉協議会と連携をとり、地域に在住する一人暮らしの高齢者宅4件を訪問しました。例年、清掃活動や工業高校ならではの技術を生かした修理等の奉仕活動をしています。今回は、草刈りや枝切り、窓拭きを中心に作業をしました。当日は天候にも恵まれ、生徒は額に汗して黙々と作業をこなす姿がとても好印象に受け止められました。2年2組のパスカ・セイイチ君は山日新聞のインタビューに「暑くて大変な作業だったけれど、喜んでくれればうれしい」と答えていました。今回も地域に根差す活動を通じて、高齢者への生徒の優しい気持ちが伝わるボランティア活動を行うことができました。



甘利山のレンゲツツジを守れ

7月7日(金)に甘利山清掃ボランティア活動が行われました。参加したのは1・2・3年生のボランティア委員36名です。6月中旬には、なだらかな山頂部が朱色に染まるレンゲツツジですが、これを守り続けている甘利山倶楽部の方々の指導のもと、レンゲツツジの花がら摘み、枯れ枝の剪定、下草刈り作業を行いました。はじめの会で「甘利山の環境を保つには無理をせずコツコツと継続していく事が重要」という挨拶があり、生徒達もその言葉に応えるかのように真剣に取り組んでいました。最後にボランティア委員会の代表として委員長の3年5組戸田寧仁君が「甘利山の自然を守るために欠かせない作業を手伝うことができてよかった。秋には甘利山強歩大会がありますが、この頂上からの景色を見るために頑張ります。」という言葉で締めくくってくれました。



URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp